

【応募資料①】 令和6年度水インフラの空間ポテンシャル活用型再エネ技術実証事業（二次公募） 作成要領

- * パワーポイントのフォーマット「【応募資料①】水インフラの空間ポテンシャル活用型再エネ技術実証事業（二次公募）.ppt」をダウンロードして、下記の構成にて作成してください。
- * 下記（1）～（6）一式を令和6年9月20日（金）15時までに電子データ（PDF）にて提出してください。

<構成>

- (1) 事業概要【2～4枚（別紙参照）】
- (2) 事業の実施体制【1～2枚程度】
- (3) 事業の実施計画【1枚】

<注意事項>

※表紙不要

◎記載方法等ご不明な点等ございましたらお問合せ願います。

応募資料①作成要領

- ・ サンプルの構成（ページ構成、枠取りなど）を崩さないようにしてください。
- ・ 文字ポイント数は10ポイント以上（図表中の文字は任意の大きさとする。）
- ・ サンプルを参考に箇条書きや図表を用いて簡潔に整理してください。
- ・ 文字色が灰色となっている部分については提出時には削除してください。
- ・ 詳しい記載方法については、応募資料①内をご覧ください。
- ・ 図表は白黒で印刷・コピーされる場合も想定の上、色等の選定を行ってください。他のアプリケーションで作成した図等をオブジェクトとして貼り付ける場合、ファイル容量を抑えるよう、図のファイル形式を工夫してください。（応募の際に提出できるファイルの最大容量は5MB）

(1) 事業概要

①事業概要

実証しようとしている事業の概要、背景、目的、最終的な目標について、平易な表現で、一読して分かるように記載してください。適宜写真や図なども用いて、具体的に記載してください。

②現状の課題とその解決策

フォーマットに沿い、実証事業について、現状の課題とそれらに対する実証を通じた解決策を記載してください。

③現時点での投資回収性について

実証事業について現時点での投資回収性・投資回収年数について記載してください。既存製品に太陽光発電を付加する場合は、太陽光発電によるコスト増加分に対する投資回収性・投資回収年数も記載してください。必要な維持管理費用についても見込んだ上で、投資回収性・投資回収年数を算出ください。

④エネルギー起源CO₂削減効果について

実証事業について、単位あたりのエネルギー起源CO₂の削減見込、費用効率性※を記載してください。（※費用効率性＝導入コスト[円]÷(CO₂削減量[t-CO₂/年]×耐用年数)で算出してください）。

合わせて、社会全体での導入ポテンシャル（統計値や自社の販売量などを基に試算）などから、普及が進んだ場合のエネルギー起源CO₂の削減見込も記載してください。

電力の排出係数については、0.000437t-CO₂/kWhとして算定を行うこととします。

※事業概要については2枚を標準として、最大4枚まで作成することが可能です。

(2) 事業の実施体制

①事業の実施体制について

事業実施体制について、例も参考に、各事業実施者が実施する業務内容及び分担業務を関連した分野の知見等と共に簡潔に記載してください。

なお、コンソーシアム等を組む場合、上記同様に、構成団体・企業等が実施する業務内容及び分担業務を関連した分野の知見等と共に簡潔に記載してください。

②事業の安全性等について

事業実施にあたり、人体や環境の安全性等を確保するためにどのような方策を検討しているのかご記入ください。

③実証地域との連携状況について

実証地域との合意の状況、連携の状況（フィージビリティスタディを行っているか、実証中はどのように連携を行っていくか、事業に係る検討会のメンバーに当該地方自治体が含まれるかなど）、について記載してください。

※事業概要については1枚を標準として、最大2枚まで作成することが可能です。
(特に地方公共団体との設置場所の調整状況についてご記載ください。)

(3) 事業の実施計画

①実施スケジュール

事業の工程及び各年度の事業費について、実証項目ごとに記載してください。

②令和6年度の予定

事業全体及び各要素技術等の目標並びに実証等の内容について、フォーマットに沿って記載してください。

③令和7年度の予定

事業全体及び各要素技術等の目標並びに実証等の内容について、フォーマットに沿って記載してください。